

1%の富裕層の代弁者アベ政治に**NO!**

小林<sup>せつ</sup>節と

国民

怒りの声



99%の普通の人々が  
共に生きられる社会へ!

ガンバレ! 小林節と「国民怒りの声」

街頭演説会

平成28年8月15日 JR新橋駅頭

樋口陽一(憲法学者、東大名誉教授)、宝田明(俳優)、三枝成彰(作曲家)、湯川れい子(音楽評論家)  
山田正彦(元農水大臣)、原中勝征(前日本医師会会長)、中山武敏(弁護士)、宇都宮健児(元日本弁護士連合会会長)、  
大田啓子(弁護士)、西郷南海子(「安保関連法案に反対するママの会」発起人)、伊勢崎賢治(国際紛争解決人)

白井聡(評論家)、道浦母都子(歌人) \*順不同 2016年5月30日現在

●問い合わせ先  
「国民怒りの声」事務局

<http://kokumin-no-koe.com/>  
東京都港区新橋2-16-1 704B TEL03-5510-9020 FAX03-3502-1661

掲示責任者: 園田康博 印刷: オリジナルシステムソリューション(株) 〒105-0004 東京都港区新橋4-25-6 鈴仙ビル3F



1%の富裕層の代弁者アベ政治にNO!



せつ  
小林節と  
国民怒りの声

99%の普通の人々が  
共に生きられる社会へ!

ガンバレ! 小林節と「国民怒りの声」

街頭演説会  
平成28年8月15日 JR新橋駅

樋口陽一(憲法学者、東大名誉教授)、宝田明(俳優)、三枝成彰(作曲家)、湯川れい子(音楽評論家)  
山田正彦(元農水大臣)、原中勝征(前日本医師会会長)、中山武敏(弁護士)、宇都宮健児(元日本弁護士連合会会長)、  
大田啓子(弁護士)、西郷南海子(「安保関連法案に反対するママの会」発起人)、伊勢崎賢治(国際紛争解決人)  
白井聡(評論家)、道浦母都子(歌人) \*順不同 2016年5月30日現在

●問い合わせ先  
「国民怒りの声」事務局

<http://kokumin-no-koe.com/>  
東京都港区新橋2-16-1 704B TEL03-5510-9020 FAX03-3502-1661

掲示責任者: 園田康博 印刷: オリジナルシステムソリューション(株) 〒105-0004 東京都港区新橋4-25-6 鈴仙ビル3F



# 1%の代弁者アベ政治にNO!

富裕層の

普通の人々の コバセツ

# 99%の代表小林節と

# 国民怒りの声

## みんなが 共に生きられる社会へ!

「国民怒りの声」7つの基本政策

**NO!**  
(反対)

**YES!**  
(実現)

- |          |   |               |
|----------|---|---------------|
| メディア介入   | → | 自由な言論報道       |
| 消費税増税    | → | 行財政のムダをなくす    |
| 辺野古新基地   | → | アメリカと再交渉!     |
| TPPへの参加  | → | 再交渉日本の国益を守る!  |
| 原発の再稼働   | → | 新エネルギーへの転換!   |
| 戦争法と関連予算 | → | 子育て、雇用、福祉の充実へ |
| 憲法改悪     | → | 平和国家ブランドの発信   |

### 小林節(コバセツ)とはこんな人

慶応義塾大学名誉教授、弁護士。1949年東京生まれ。1977年慶応大学院法学研究科博士課程修了。ハーバード大学ロー・スクール客員研究員等を経て、1989年-2014年慶大教授。その間、北京大学招聘教授、ハーバード大学ケネディー・スクール・オヴ・ガヴァメント研究員等を兼務。

かつては自民党の改憲草案の作成に関わるも、昨年の「安保法制」をめぐる国会審議では民主党推薦の参考人として出席、自公政権案は「立憲主義を踏みしる」と反対答弁、これがきっかけで反安保法制の運動の流れをつくった。

参議院比例区でも「野党共闘でアベ政権に改憲可能な3分の2はとらせない」と呼びかけてきたが、時間切れ間近となったため、自ら第三の旗をたてることを決意。最初は反対していた夫人から、「あなたにも参政権という人権があったわね」と背中を押され、「国民怒りの声」を結成。

### ガンバレ! 小林節と「国民怒りの声」

樋口陽一(憲法学者、東大名誉教授)、宝田明(俳優)、三枝成彰(作曲家)、湯川れい子(音楽評論家)、山田正彦(元農水大臣)、原中勝征(前日本医師会会長)、伊勢崎賢治(国際紛争解決人) \*順不同 2016年5月24日現在

あなたの名前も手書きで入れて、拡散しよう!  
私も応援しています!

●問い合わせ先  
「国民怒りの声」事務局

<http://kokumin-no-koe.com/>

東京都港区新橋2-16-1 704B TEL03-5510-9020 FAX03-3502-1661 政策討議資料



# 国民怒りの声 設立宣言

KOKUMIN IKARINO KOE



2016年5月9日 代表・小林 節

政治の使命は、国家権力を用いて主権者国民の幸福を増進することに尽きる。

国民にとって、幸福の条件は、自由と豊かさ、平和である。

しかるに**安倍政権は、まず、世界のどこでも戦争のできる法律を成立させてしまった。**

その理由として、中国と北朝鮮の脅威からわが国を守るためと主張している。しかし、両国の脅威がわが国の専守防衛を実際に超え得るかは疑わしい。そして何よりも憲法9条が軍隊の保持と交戦権の行使を禁じているために海外派兵はできないとしてきた政府自らの解釈との矛盾を説明できていない。それは、**政府自身が公然と憲法を破った**ことになる。

これが**立憲主義の危機である**。つまり、権力を一時的に託されただけの立場にある政治家が、主権者国民の最高意思である憲法を無視して、勝手に行動を始めたことを意味する。これは、国民主権国家における主客転倒であり、許されることではない。

次に、安倍政権は、政府が秘密に指定した情報を永久に秘匿できる**特定秘密保護法を制定**してしまった。これは、自由主義社会に例のないもので、**主権者国民の知る権利を封殺**し、ジャーナリストの**報道の自由を奪う**ものである。加えて、放送法を悪用して、政府にとって耳の痛い言論人に「不公平」のレッテルを貼り、順次、論壇から追放している。これは、民主主義の前提である**言論の多様性が保障された社会の圧殺**である。

また、今回の、消費税再増税「中止」の雲行きを見ても明らかのように、いわゆる**アベノミクスは失敗**している。年金基金の投機的運用による損失も深刻である。加えて、**戦争法の制定に伴う防衛予算の突出**は、着実にわが国の富を減殺して行く。米国の経験を見るまでもなく、戦争は確実に**国家財政を破綻に導く**ものである。

さらに、海外派兵を可能にした**戦争法**が、これまで70年にわたり平和でいられたわが国に、戦争の危険を現実のものにしてしまった。これはまた、国際社会における**「平和国家」としてのブランドの放棄**でもある。

このように、政治の使命（つまり、主権者国民の自由と豊かさ、平和の増進）に逆行する政策を確信を持って推進している**安倍内閣には一日も早く退場**してもらわなければならない。

そのために、現行選挙制度の下では、自公に学んで、野党は誠実に選挙協力をしなければならないと、私たちは熱心に主張し続けてきた。

その結果、参議院1人区での野党統一候補の擁立は着実に前進している。

他方、比例区に野党は統一名簿で参加せよという私たちの主張は理解が得られていない。統一名簿方式のメリットはふたつある。第一は、これまでバラバラに戦って野党各党が無駄にしてきた莫大な死に票も、統一名簿であれば合算されて確実に議席を生むという事実である。第二が、野党共闘の「本気」度を示すことにより、これまでは「どうせ政治は変わらない」と諦めて棄権してきた3割以上もの無党派層に、「今度こそ政治が変わるかも知れない」という期待感を抱かせ、投票場に向かわせる効果がある。経験上、その多くは野党に投じられ、相対的に与党の組織票の効果を下げることができる。

しかし、現実には、この野党統一名簿構想は頓挫してしまった。このままでは与党の勝利は目に見えている。

**そこで、私たちは、安倍政権の暴走は止めたいのだが、かといって、未だに民主党政権の失政を赦すことができず、また、共産党に投票する気にもなれない多数の有権者の代弁者たらんとして、ここに第三の旗を立てることにした。**

**基本政策は表面に掲げたとおりである。**



**立候補者**

半分は女性 / 半分は「共生社会」を実現できるプロフェッショナルを

**カンパ**

国政選挙では初めての試み!  
**クラウドファンディング受付中!**

<http://zipango.shootingstar.jp/projects/2108>

銀行と郵便局でのカンパも受け付けています。

銀行口座 三菱東京UFJ銀行新橋支店 普通4604436...国民怒りの声

**ボランティア**

リーフレットやチラシの配布 / 地域やご自宅での支援集会の開催 / 支援者のご紹介など



連絡先:東京都港区新橋2-16-1 704B「国民怒りの声」事務局 <http://kokumin-no-koe.com/>